平成29年度地域づくり人材養成講座 第4回ワークショップ開催概要

В	時	平成29年7月9日(日) 13:00~15:30
場	所	尾崎中央ふれあい会館
指導•	助言者	東海学院大学人間関係学部心理学科 客員教授 宮本邦雄 先生
受講者		36名
共	催	岐阜県環境生活部県民生活課 各務原市産業活力部いきいき楽習課
内	容	▲活動並の後世

◆沽動前の準備

1 東海学院大学大学祭について(大学祭実行委員会委員長) 今回は、東海学院大学の大学祭にて中間報告会を開催するため、 実行委員会委員長が説明に来られました。また大学祭を地域活動 の場として活用してもらってもよいと提案がありました。



▲説明する伊藤委員長

2 前回の振り返り

◆グループワーク



テーマ「活動計画を立てよう!」

どんな活動をするか、どんな準備が必要かなど、具体的な計画を グループごとに検討しました。グループワークの途中には、お互い の状況を知るためのグループ間交流を実施しました。

▲指導・助言者の宮本先生

<各グループの活動計画内容>

「坂・公園がいっぱい」グループ

- ●キャッチフレーズ「さぁ、公園に行こう!」
 - ・目的:公園の有効利用、大人と子どもの交流
 - ・いきなり大規模な活動を行うのではなく、自分たちにできることから始める
 - (案1) ラジオ体操に大人もできる限り参加
 - (案2)公園でフリーマーケットを開催

→収益は、自治会への寄付や公園の整備に充てる

(案3) 人生の先輩たちを講師に迎え、昔の遊びや

軽スポーツを実施

○今後の予定:どの活動を実施するか検討する

<宮本先生コメント>

子どもたちとの交流をきっかけに、何かつながっていけると いいと思う。



「自然がいっぱい」グループ

●尾崎トレイルをつくる

- ※トレイルとは…森林や里山、海岸、集落などを通る「歩くための道」のこと
- 登山道を活かしたオリエンテーリングができるようにする
- ポイントやトイレ、駐車場の場所が記載してあるマップを作成
- 地区の体育振興会とタイアップし、マップを使用した「歩け歩け大会」を実施

○今後の予定:ポイント設置筒所及び所要時間を実地調査し、中 間報告会までにマップを作成する



<宮本先生コメント>

今回の時点で、マップ作成作業に入っているのは素晴らしい。 熱中症に注意して、実地調査をしてほしい。

「シニアがいっぱい」グループ

- ●常設サロン計画
 - 移動サロンは現在も実施しているが、サロンを常設にしたら どうか
- ○今後の予定:ミニサロンや他地域の常設サロンを見学し、活動 の参考にする

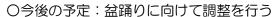


<宮本先牛コメント>

クリアすべきことがたくさんあると思うが、1つ1つ解決していってほしい。

「交流したい」グループ

- ●盆踊り盛り上げたい!
 - ・8月5日に開催される尾崎夏祭り(盆踊り)に参加
 - ・今まで参加していなかった人たちが、参加したくなるようなお店や企画を実施
 - 盆踊り開催後も、つながりを大切に何か活動を実施したい





<宮本先生コメント>

盆踊り開催後も、何かこれから起こるのではないかと期待できるような企画だ。

平成29年7月10日から平成30年1月20日までは、自主活動期間になります。各グループが自分たちで考えながら準備・調整し、活動を実践します。